1．ブール代数

- ブール代数の広い定義： 集合 L が与えられ、その任意の元（要素）A、B に対して、2つの演算･、＋が定義される時、A･B、A+B は L の元であり、次の公理が成立する。

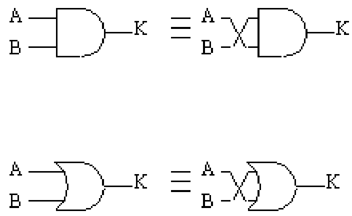
表4．2ブール代数の公理

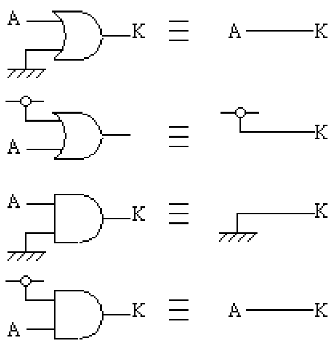
公理1	交換則	A･B=B･A A+B=B+A
公理2	結合則	A･(B･C) = (A･B)･C A+(B+C) = (A+B)+C
公理3	吸収則	A･(A+B) = A A+(A･B) = A
公理4	分配則	A･(B+C) = (A･B)+(A･C) A+(B･C) = (A+B)･(A+C)
公理5	相補則	最小限 0 と最大限 1 が存在し、任意の A に対し A･A'=0 A+A'=1 A'（教科書の表記と異なる）は A の補元

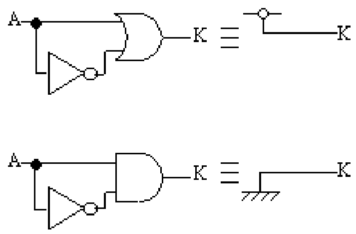
- 具体的には2値（'０'と'１'）を取る論理関数はブール代数となる。
  〇集合 L： 元は'０'と'１'
  〇2つの演算･、＋をそれぞれ、AND と OR に対応させる。
  〇A の補元 A'を論理関数の A に対する NOT に対応させる。

- 任意の論理関数f(A, B, C, …)は'０'または'１'の値をとり L に属し、論理関数の集合はブール代数となる。
  すなわち、ブール代数の諸性質は、すべて論理関数に適用できる。

2. ブール代数の公式集

1．可換則	
A･B = B･A （1－1） A+B = B+A （1－2）	

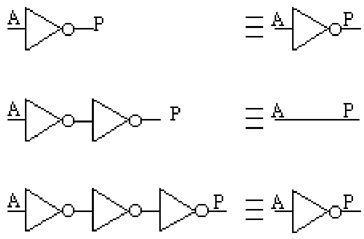
2．吸収則	
A+0 = A （1－3） A+1 = 1 （1－4） A･0 = 0 （1－5） A･1 = A （1－6）	

3．相補則	
A+A’ = 1 （1－7） A･A’ = ０ （1－8）	

４．二重否定則

A'' = A （１－９）

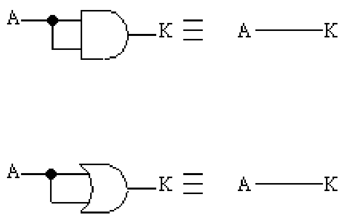
NOT ゲート2段で、
信号は遅れるが、
元と同じ信号になる。



５．べき等則

A･A = A （１－１０）

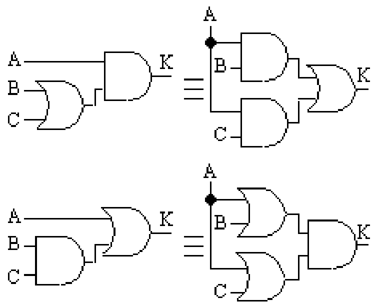
A+A = A （１－１１）



６．分配則

A･(B+C) = (A･B)+(A･C) （１－１２）

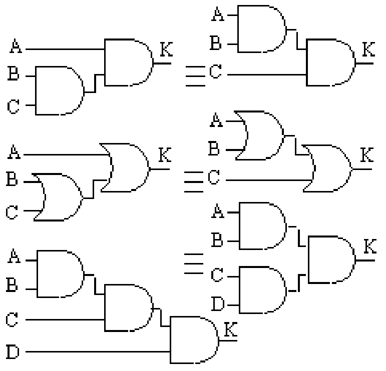
A+(B･C) = (A+B)･(A+C) （１－１３）



7. 結合則

A･(B･C) = (A･B)･C （1－14）

A+(B+C) = (A+B)+C （1－15）



2段の方が遅延時間小さい

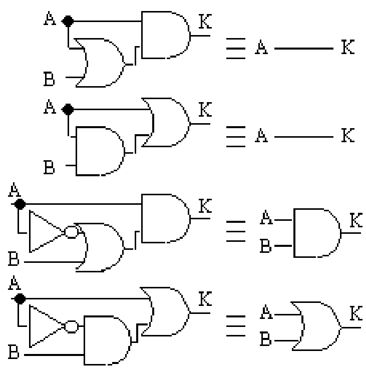
8. 吸収則1

A･(A+B) = A （1－16）

A+(A･B) = A （1－17）

A･(A'+B) = A･B （1－18）

A+(A'･B) = A+B （1－19）

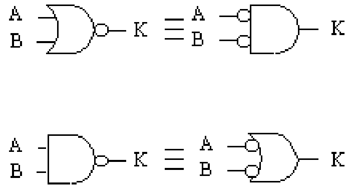


AND-OR／OR-AND で
同じ信号が入ると
おかしい！

9. ド･モルガンの定理

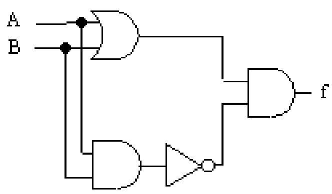
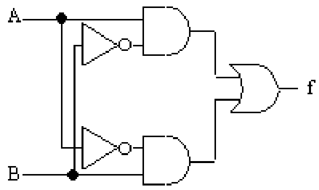
(A+B)' = A' ･B' （1－20）

(A･B)' = A' + B' （1－21）

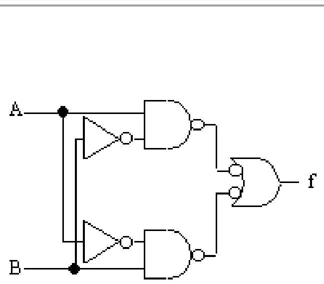
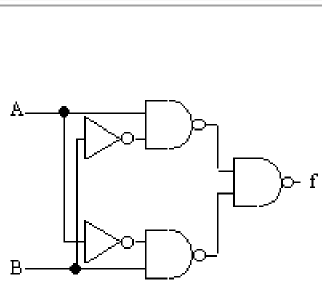


３. 例題

- **ブール代数公理／定理により式を変換することで、異なる回路を作れる。**
- このような、ある出力状態が、その時の入力状態の組み合せによって決定される論理回路を**「組み合せ回路」**もしくは**「組み合せ論理回路」**という。

$f = (A+B)\cdot(A\cdot B)'$ を実現すると		トランジスタ数＝ ６(NOR)＋６(AND)＋２(NOT)＋６(AND) ＝２０
式を変形する、 $f = (A+B)\cdot(A\cdot B)'$ $= (A+B)\cdot(A'+B')$ $=A\cdot(A'+B') + B(A'+B')$ $=A\cdot A' + A\cdot B' + B\cdot A' + B\cdot B'$ $= 0 + A\cdot B' + B\cdot A' + 0$ $= A\cdot B' + B\cdot A'$		トランジスタ数＝ ６＋６＋６＋２＋２ ＝２２ トランジスタ数は増えてしまった！

- **回路の変形方法**
AND や OR ではなく、NAND や NOR を使用する方が回路面積は小さい・

上記回路に対して、NOT2つを挿入	ドモルガンの定理適用（16トランジスタで実現）
	

4. シャノンの展開定理（加法標準形）

f(X1, X2, ..., Xi, ...Xn) = Xi ・ f(X1, X2, ..., Xi−1, 1, Xi+1, ..., Xn) + Xi ' ・ f(X1, X2, ..., Xi−1, 0, Xi+1, ..., Xn)

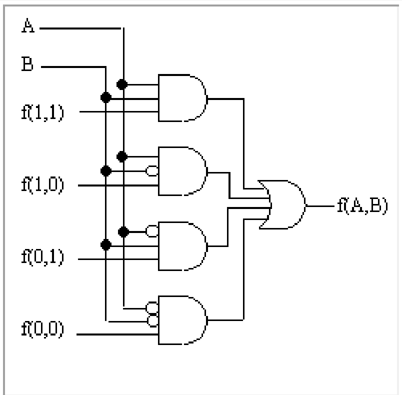
したがって、

f(A, B) = A･f(1, B) + A'･f(0, B) = A･(B･f(1,1)+B'･f(1,0)) + A'･(B･f(0,1) + B'･f(0,0))
f(A, B) = A･B･f(1,1) + A･B'･f(1,0) + A'･B･f(0,1) + A'･B'･f(0,0)

（加法標準形：入力信号またはその反転信号を AND し、その AND 出力を OR する形）

に展開することができる。

結果的にf(A,B)=1 の項のみ残る。



したがって、以下のような真理値表が与えられたら、

入力 A	入力 B	出力 f(A, B)
0	0	f(0,0) = 0
0	1	f(0,1) = 1
1	0	f(1,0) = 1
1	1	f(1,1) = 0

f(A,B) = A･B･f(1,1) + A･B'･f(1,0) + A'･B･f(0,1) + A'･B'･f(0,0) = A･B' + B'･A

となる。

- **ある真理値表が与えられた時、「結果が1となる変数の値0, 1のそれぞれの組み合わせについて、その値が1の時はそのまま、0の時はその変数を NOT し、すべての変数の AND をとった項を OR で結ぶことで、論理関数を求めることができる。」**

（乗法標準形）

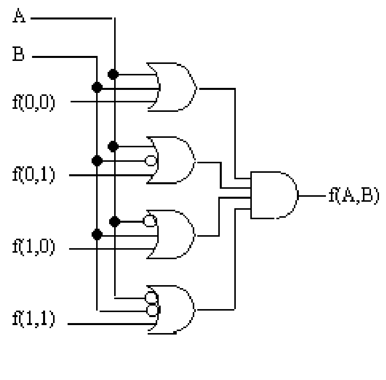
f(X1, X2, ..., Xi, ...Xn) = (Xi + f(X1, X2, ..., Xi−1, **0**, Xi+1, ..., Xn)) ・ (Xi ' + f(X1, X2, ..., Xi−1, 1, Xi+1, ..., Xn))

f(A,B) = (A+B+f(0,0)) ・ (A+B'+f(0,1)) ・ (A'+B+f(1,0)) ・ (A'+B'+f(1,1))

（乗法標準形：入力信号またはその反転信号を OR し、その OR 出力を AND する形）

に展開することができる。

結果的にf(A,B)=0 の項のみ残る。



- **ある真理値表が与えられた時、「結果が0となる変数の値0，1のそれぞれの組み合わせについて、その値が0の時はそのまま、1の時はその変数を NOT し、すべての変数の OR をとった項を AND で結ぶことで、論理関数を求めることができる。」**

宿題3 学籍番号 名前 日付 を書いて 提出すること。

（注意：回路を設計する場合、特に明記しないが、なるべく少ないゲート数で実現せよ。）

1) ２入力 NAND ゲートのトランジスタレベルの回路図を書け
2) ２入力 AND の真理値表が書け
3) ２入力 OR の真理値表が書け
4) n入力 NAND、NOR ゲートのトランジスタ数はいくらか？
5) n入力 AND、OR ゲートのトランジスタ数はいくらか？
6) 式 f(A, B, C) = A’ ･B･C + A･B’･C + A･B･C’ + A･B･C
を AND、OR、NOT ゲート用いて回路図を実現せよ。総トランジスタ数はいくつか？
7) 上記式を NAND、NOR、NOT を用いて実現せよ。総トランジスタ数はいくつか？
8) 上記式を以下のように変形する。最後の式はどうなる？

f(A, B, C) = A’ ･B･C + A･B’･C + A･B･C’ + A･B･C
= (A’ ･B･C+A･B･C) + (A･B’･C+A･B･C) + (A･B･C’ +A･B･C)
=????????????????????

9) 上記 8)の結果式を、AND、OR、NOT ゲートだけを用いて回路図を実現せよ（AND, OR, NOT の全てを用いる必要はない）。総トランジスタ数はいくつか？
10) 上記 8)の結果式を、NAND、NOR、NOT ゲート用いて回路図を実現せよ（NAND, NOR, NOT の全てを用いる必要はない）。総トランジスタ数はいくつか？
11) A･C + B･C’ + A･B = A･C + B･C’ をブール代数の公式を用いて、証明せよ。
（左辺を変形してゆき、右辺にする）

12) 以下の真理値表で与えられる論理関数を乗法標準形で表せ。

入力 A	入力 B	出力 f(A, B)
0	0	f(0,0) = 0
0	1	f(0,1) = 1
1	0	f(1,0) = 1
1	1	f(1,1) = 0

13)　上記 12)の乗法標準形を AND、OR、NOT ゲートを用いて回路図を実現せよ（AND, OR, NOT の全てを用いる必要はない）。総トランジスタ数はいくつか？

14)　上記 12)の乗法標準形を NAND、NOR、NOT ゲートを用いて回路図を実現せよ（NAND, NOR, NOT の全てを用いる必要はない）。総トランジスタ数はいくつか？

15)　以下の真理値表で与えられる回路を NAND、NOR、NOT だけを用いて設計せよ（NAND, NOR, NOT の全てを用いる必要はない）。

（ヒント：この回路は加算器で、３つの入力の１の数を数えて、２桁の２進数（上位：C、下位：S）として出力する回路）

それぞれの出力Ｃと出力Ｓに関する論理式を加法標準形で求めて、回路図を作成すればよい。

２つの回路で同じ信号を共通に使用してもよい。

入力 A	入力 B	入力 C		出力 C	出力 S
0	0	0		0	0
0	0	1		0	1
0	1	0		0	1
0	1	1		1	0
1	0	0		0	1
1	0	1		1	0
1	1	0		1	0
1	1	1		1	1

16)　上記 15)で設計した回路の総トランジスタ数はいくらか？

以上